

とんがらし物語

旅風



FZL GIRL



前世紀星
LOSTWORLD



手塚治虫 オリジナル版 復刻シリーズ

第2期・全3巻

豆子絵録

風進
がんばる



アドバイ



長編冒険
絵ものがたり
銀河少年

国書刊行会

© 手塚プロダクション

華麗な色彩に彩られたオリジナリティ溢れる物語を、底知れぬ魅力を秘めたオリジナルの描線で——これぞまさしく“オリジナル”!!

今まで単行本化されることのなかった〈雑誌掲載オリジナル版〉を完全復刻。

オリジナルの色彩を忠実に再現、雑誌そのままのサイズ、豪華愛蔵

版でおくるファン待望の夢の企画、好評につきいよいよ〈第2期〉がスタート!!

今回も〈第一期〉に続き話題作が目白押し。ファンの間で完全復刻が熱望されていた『旋風Z』とその続編『ハリケーンZ』を初めて完全版として一冊に集約するほか、全集未収録作品を中心に編んだ「少年漫画作品集」と華麗な色彩を再現した「少女漫画作品集」を順次発売。全3巻の構成でファンの期待に応えます。

第1回配本 アクセス数1:17,600円+税 アクセス数3:26,400円+税 『旋風Z・ハリケーンZ』

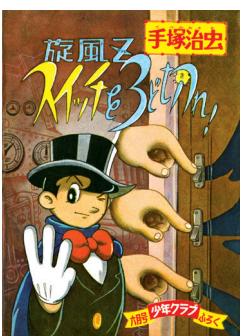
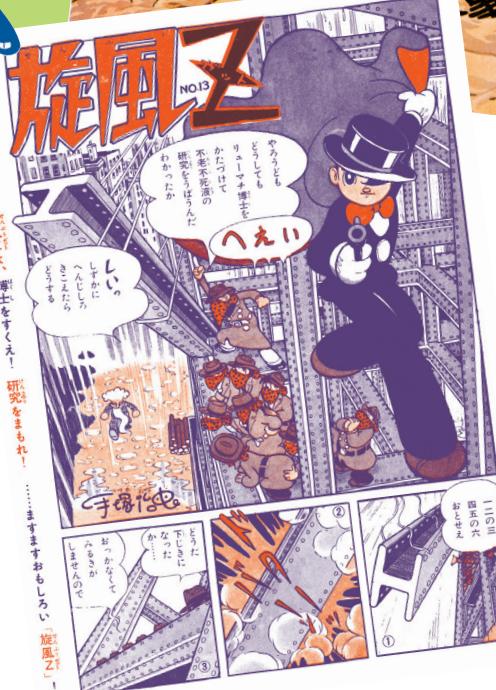
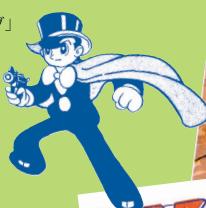
『旋風Z』は、「少年クラブ」に連載されたSFヒーロー漫画。近未来、日本の科学者・鷹群博士の発明品は、今や世界中に溢れていた。しかし、それを諦ましく思う蛇沼博士は、鷹群博士に決闘を申し込み、その結果、鷹群博士と妻は殺されてしまう。一人残された幼い息子は、博士の残した養育ロボットに育てられて、やがて「Z」と名乗る正義の少年へと成長。シルクハットに蝶ネクタイ、黒マント姿で警察を手玉に取るZの活躍は、まるで怪盗ルパンさながらだ。そんなZの華々しい活躍を描いた本作は、探偵・推理ものにSFの要素を盛り込んだ極上のエンターテインメント作品。本作に登場する女性型の養育ロボット「ジェット」は、その後、手塚が総監督を務めた映画『火の鳥 2772 愛のコスモゾーン』(80年)に登場

場する主人公ゴードの養育ロボット「オルガ」の原型になった。また、おなじみのスター・下田警部が、代表作『パンパイヤ』(66年)に劣らぬ活躍をみせるのもファンには堪らないだろう。なお本書には連載時に描かれた番外編『スイッチを3ど切れ!』を含む4冊の別冊付録を完全復刻の上で同梱。さらに続編となる『ハリケーンZ』は別冊付録と共に完全復刻。『ハリケーンZ』が連載時のまま復刻されるのは今回が初めて。

【初出】『旋風Z』「少年クラブ」(講談社刊) 1957年1月号～58年6月号掲載
『ハリケーンZ』「少年クラブ」(講談社刊) 1958年7月号
～同年12月号掲載



付録「計五冊」は、
B6・A5サイズ
にて別冊収録!



第②回配本 アクセス数1：15,840円+税 アクセス数3：23,760円+税

『銀河少年——手塚治虫少年漫画作品集』

『銀河少年』は、手塚が本格的な長編絵物語に挑戦した意欲作。カナダを大氷河が襲い、氷河が森林をのみながら次第に南下を続けてゆくなか、主人公の日本人孤児ケンジは、ある日、狼の群れから仔狼ブウを救う。しかし、ブウはアメリカが溶解爆弾で氷河を溶かした際、その熱を浴びたことによって、怒ると発光する狼として人々に恐られる存在になってしまった。やがて、地軸が変化したことで北極が移動、温暖化し始めた南極の開拓団長にケンジが選ばれる。果たしてケンジとブウの運命は……？ 手塚はこれ以前にも絵物語のスタイルで幼児向け名作絵物語を描いているが、本作はSFの要素を取り入れた長編絵物語で、その後の『黄金のトランク』(57年)『オズマ族長』(61年)『ハトよ天まで』(66年)へと続く手塚流絵物語の出発点にある。

本書にはこのほか、主人公の少年トムが大活躍のうち奴隸を解放して豆大統領となる『豆大統領』や、裸で犬たちと暮らし、動物語を話す少年の活躍を描く『ワンダーくん』、SF三部作の一編『ロストワールド』(46年)のリメイク『前世紀星』、幕末を舞台に吹雪風之進の奮闘を描いた『風之進がんばる』といった作品を併載。さらに、長原原稿・初出誌ともに未確認だった短編『おばけジャングル』を単行本初収録！『ワンダーくん』を除くすべての作品が全集未収録、『ワンダーくん』もオリジナル復刻はこれが初となる。

【初出：『銀河少年』『おもしろブック』（集英社刊）1953年4月号～54年2月号掲載】

【豆大統領】『冒險王』（秋田書店刊）1953年10月号～54年12月号掲載

【『ワンダーくん』『おもしろブック』（集英社刊）1954年4月号～55年6月号掲載】

【前世紀星】『冒險王』（秋田書店刊）1955年1月号～同年6月号掲載

【風之進がんばる】『おもしろブック』（集英社刊）1955年10月号～56年6月号掲載

【『おばけジャングル』『こどもブック』（新生閣刊）1952年1月新春増刊号掲載】



第③回配本 アクセス数1：17,160円+税 アクセス数3：25,740円+税

『ナスビ女王——手塚治虫少女漫画作品集』

『ナスビ女王』は、『リボンの騎士』(53年)に続く手塚の長編少女漫画第2作。パレエもあり、農村ものあり、ミステリー、雑学いろいろ、恋模様もあり、と現在に至る少女マンガのエッセンスがふんだんに盛り込まれた作品で、映画『ゼンダ城の魔女』やパレエ『コッペリア』など、当時手塚が見た様々な作品の要素が物語に反映されているのも見所だ。中学校を卒業する日、田舎に帰るナスビを見送るタコ子とフジ子は、お互いの宝物を送りあい「今度東京に来るとときは、学校のイチョウの木の下で待ち合わせましょう」と約束を交わす。田舎に帰ったナスビは、ある日、村一番のイチョウの木の女神に「女王みたいに暮らしがしたい」と願ったところ、それが聞き届けられ、ある日突然姫君になってしまった。三人の少女の夢と冒險を描いた傑作を、短編『ナスビ女王と宝石』、そして別冊付録と共に完全復刻。ちなみに、本作はのちに多くの手塚作品で活躍するメイシンのデビュー作でもある。

このほか、リスのジロを主人公にダムの底に沈んだ〈とんから谷〉に住む動物たちを描くファンタジックな少女向け短編『とんから谷物語』、小鳥のお父さんが子供の巣にするためにシリクハットを手に入れるまでのドタバタを描いた小品『シリクハット物語』、革命軍の親玉〈ドナウの狐〉から殺人予告を受けた少女リリーの運命を描く『舞踏会へきた悪魔』を併載。本巻収録作品は、いずれも全集収録時に再現されなかった発表時の色彩を鮮明に再現。まさに決定版といえる。

【初出：『ナスビ女王』『少女』（光文社刊）1954年5月号～55年7月号掲載】

【シリクハット物語】『少女』（光文社刊）1954年3月号～同年4月号掲載

【とんから谷物語】『なかよし』（講談社刊）1955年1月号～56年3月号掲載

【舞踏会へきた悪魔】『少女』（光文社刊）1957年1月号掲載】



付録
『ナスビ女王』
オリジナルのまま
横組にて別冊収録！



（作品解説 濱田高志）

〈手塚治虫オリジナル版復刻シリーズ〉の特色

単行本化の度に書きかえでは切り貼り、編集し、時には結末まで変更される手塚漫画。常に進化を求める巨匠の姿勢は、単なる読者サービスの域を超えて、まさに“編集狂”と呼ぶにふさわしい大胆かつ鮮やかなものです。

時代に応じた台詞の変更から、版型に合わせた書き足しや書き直し、さらには絵柄の改変まで。改訂の理由は様々ですが、ファンなら一度はオリジナル版で読みたいところ。何しろ後年の版では、原稿紛失によるトレスやエピソードごと丸々カットなんて荒技まで確認出来るのですから。

そんななか、本シリーズでは、オリジナル版未読のファンの期待に応えるべく、各作品を掲載誌からダイレクトにスキャン。最新のデジタル処理を施すことで、発表時のオリジナル版の風合いのまま単行本化を実現しました。しかも、これまで単行本化の際に再現されなかつた美麗なカラーページも忠実に復刻、さらにはこれが初単行本化の作品やイラスト、別冊付録まで網羅します。

手塚ファンはもちろんのこと、全ての漫画ファンに送る永久保存版。待望の復刻シリーズです。

各巻平均約 250 ページ

体裁：B5 判／函入／カラー（4 色・3 色・2 色）・モノクロ

プロデュース：古徳穂（手塚プロダクション）

企画・編集：森晴路（手塚プロダクション）、濱田高志

資料提供：五十嵐正克 監修：手塚プロダクション

デザイン：芥陽子（note）



●好評発売中！

手塚治虫 オリジナル版 第1期・全3巻
復刻シリーズ

『冒険狂時代・ピピちゃん』

『サボテン君+快傑シラノ』

『ケン1探偵長』

『旋風Z・ハリケーンZ』底本 ISBN978-4-336-05296-4 『銀河少年—手塚治虫少年漫画作品集』底本 ISBN978-4-336-05297-1
『ナスピ女王—手塚治虫少女漫画作品集』底本 ISBN978-4-336-05298-8

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15 Tel 03-5970-7421 Fax 03-5970-7427
<http://www.kokusho.co.jp> e-mail : info@kokusho.co.jp

帖合・書店印

申込書

国書刊行会『手塚治虫オリジナル版復刻シリーズ〈第2期〉』全巻を購入します。

お名前 _____

ご住所 _____

お電話 _____

※必要事項をご記入のうえ、書店へお渡しください。